

気象庁

噴火状況

平成30年1月23日(火)午前10時ごろ、草津白根山で地盤の変動を伴う振幅の大きな火山性微動を観測。草津白根山の本白根山の鏡池付近の火口から1キロ以上離れた場所まで噴石が飛んだことが確認された。

「草津白根山の鏡池付近で噴火が発生した」として、噴火警戒レベルを「入山規制」を示すレベル3に引き上げ。



鏡池付近

関係機関体制

国土交通省

平成30年1月23日(火) 午前10時30分 利根川水系砂防事務所に火山災害対策支部を設置(注意体制に入る)

群馬県

平成30年1月23日(火) 午前10時30分 群馬県災害対策本部を設置
午前10時41分 情報連絡員(吾妻行政農税事務所)2名を草津町に派遣
午前11時30分 第1回群馬県災害対策本部会議開催。午後4時、第2回本部会議開催
※県土整備部情報：立入規制区域内にある県管理道路「国道292号草津町地内(天狗山ゲート)~中之条町地内(長野県境・渋峠)等」2路線は降雪による冬期閉鎖中。

1月24日(水) 午前 9時30分 第3回本部会議開催

市町村

平成30年1月23日(火) 午前10時10分 草津町災害対策本部を設置
午前10時48分 知事に対し自衛隊災害派遣要請の要求。10時51分、知事から陸上自衛隊第12旅団長に対し災害派遣要請。午後6時10分、草津町長から知事に対し自衛隊災害派遣部隊撤収の要求。午後6時15分、知事から陸上自衛隊第12旅団長に対し、災害派遣部隊撤収要請
同日 午前11時 嬬恋村災害対策本部を設置
同日 午前11時50分 長野原災害警戒本部を設置

平成30年1月25日作成



(一社)群馬県建設業協会災害対応状況 ~避難体制道路の安全パトロール実施~

・平成30年1月23日(火)午後2時、国土交通省利根川水系砂防事務所から災害協定会員企業へ大型土のう(耐候性)等の災害応急対策資材の備蓄量について電話受。(国は大型土のうを1,500袋程準備計画)



・平成30年1月24日(水)午後10時
群馬県中之条土木事務所との災害応急対策業務に関する細目協定に基づき、県道292号線(草津・大津・長野原・六合)を(株)武藤組・吉澤建設(株)、東光建設(株)が避難体制道路の安全パトロールを実施。(異常なし)

25日(木)以降も1日1回深夜パトロールを継続実施予定



2018/01/24

※他県協会からの支援申入れ

1月25日(木)午前11時、栃木県建設業協会(渡邊会長)から火山泥流対策等に使用する大型土のうについて、副会長会社が所有する土囊製作機を要請を受ければ群馬へ持ち込む体制を築いている旨電話連絡有。栃木県協会として全面的に協力する申し入れが有。

災害警戒活動(各種訓練)+流通在庫備蓄方式

(一社)群馬県建設業協会は平成8年、群馬県知事と「災害応急対策業務に関する基本協定」を締結し、支部毎に土木事務所長と細目協定を締結している。また、不測の事態に備えるために、現在までに「利根川水系連合・総合水防訓練」「群馬県総合防災訓練」「無人化施工機械操作訓練」「被災宅地危険度判定制度訓練」「群馬県道路除雪訓練」等に参加するとともに、災害時に直ちに必要となる災害応急対策資材の一定量を確保するため群馬県内建設資材流通企業3社と協定を締結し、流通在庫備蓄(購入した資材を商品として備蓄)を継続している。

日刊建設工業新聞 平成30年1月25日(木)



会見する(右から)萬徳、白木、水野、鶴巻の各氏

国土交通省は24日、群馬県西部にある草津白根山が噴火したことを受け、高崎市で会見を開いた。現時点で降灰量は少ないと見られており、即座に土砂災害が

発生する可能性は低いものに派遣。同日午前、ヘリ降雨に伴い不安定となり、の、引き続き注視する必要コプターでの目視調査を試みたと注意を喚起した。みたが天候が悪く、現地確認はできなかった。このた「降灰が薄く積もっている性

国交省 草津白根山噴火の土砂災害 現段階では可能性低い

研究所の萬徳昌昭土砂災害などを参考にして現段階の研究部深層崩壊対策研究見解を示した。

官、土木研究所の水野正樹白木准教授は、「雪の上火山・土石流チーム上席研に、不安定な土塊が若干載っていることが考えられ

研究員(特命事項担当)、関東地方整備局の鶴巻和芳河川部河川保全管理官らを現

「早ければ融雪のころから

が排出された場合など、状況の変化を注視する必要があるとの指摘も出された。

群馬県県土整備部によると、噴火に伴う立ち入り禁止区域内には冬季閉鎖中の道路しかないため、通行止め措置を継続している。群馬県建設業協会(青柳剛会長)には24日正午の段階で、緊急対応の要請は出されていない。青柳会長は「噴火が厳しくなると、土のうを積むなどの作業が出てくるかもしれない。無人化施工などの訓練にも参加しており、準備は整っている。災害協定に基づく要請が出されればしっかり対応する」と語った。

「早ければ融雪のころから

本白根山噴火に対応

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は、23日の草津白根山本白根山の噴火を受け、大型土のうの準備や県道パトロールなどを実施した。栃木県建設業協会（渡邊勇雄会長）も、全面協力を群馬建協に申し入れており、

群馬建協

地域全体で今後の土砂災害などへの準備を整えている。

23日午後2時に国土交通省利根川水系砂防事務所から災害協定会員企業に対し、大型土のう（耐候性）などの災害応急対策

県道パト、大型土のう準備

資材の備蓄量を確認する連絡が入った。

25日には、栃木建協から大型土のう製作機の提供など、必要な場合に全面協力する申し入れがあった。

24日午後10時には、群馬県中之条土木事務所との「災害応急対策業務に関する細目協定」に基づき、武藤組、吉澤建設、東光建設の3社が県道292号（草津・大津・長野原・六合）の安全パトロールを実施。特に異常は見られず、25日以降も1日1回の深夜パトロールを継続している。

栃木建協も全面協力申し入れ